

Ⅲ 特別支援教育コーディネーターとは

1 特別支援教育コーディネーター

「校内委員会」とともに、もう一つ校内において大切な役割を担うのが「特別支援教育コーディネーター」です。『今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）』の中においても、特別支援教育コーディネーターを小・中学校と特別支援学校の校務として位置づけ、校内や関係機関との連携協力を図ることが示されています。

これからの特別支援教育において、特別支援教育コーディネーターはキーパーソンとなる大切な役割を担います。しかし、これまでにない新しいシステムですので、取組を進めつつ、課題を整理していくことが必要です。

2 なぜコーディネーターが必要なのですか

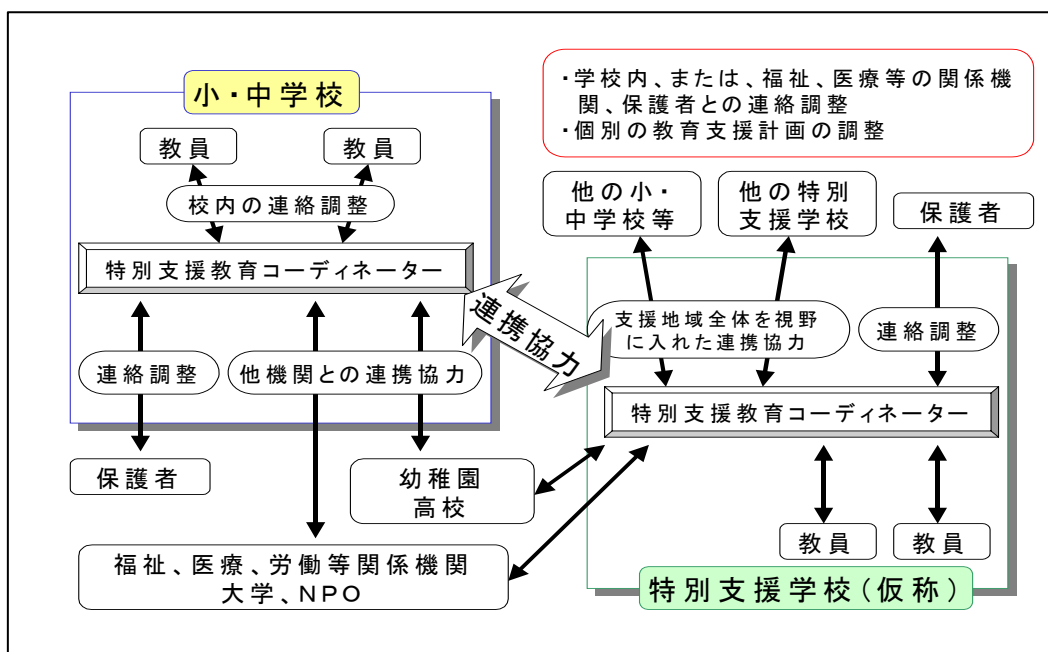
通常の学級や障害児学級、そして盲・聾・養護学校にはさまざまな教育的ニーズのある子どもがいます。従来はこのような子どもに対して学級担任が中心となって、関係する教職員間や保護者などと連絡調整を行いながら、望ましい指導を考えてきました。

こうした連携・協力をより発展させ、効率よく展開し、適切な支援を行うためには関係者相互の連絡調整を行うことを目的とする特別支援教育コーディネーターが必要となります。

子どもたちは、学級担任や専科の教員、養護教諭、学校長、クラスメイト、保護者、医療・福祉関係の人々、地域社会などの環境に囲まれています。特別支援教育コーディネーターの役割は、子どもたちを取り巻くこれらの環境をうまくコーディネートして、特別な教育的支援を必要とする子どもたちの幸せにつなげていくことなのです。

3 コーディネーターの役割と内容

特別支援教育コーディネーターの役割の全体像は次のようなものです。



特別支援教育コーディネーターの役割と内容は大きく分けると、次のようなものです。盲・聾・養護学校のコーディネーターについては、地域支援の機能を果たすため、（１）～（５）に加え（６）、（７）の役割も期待されます。

小・中学校

役 割	内 容
（１）校内の関係者や関係機関との連絡調整	校内の関係者や医療、福祉等の関係機関との連絡調整、保護者との関係づくりを行います。
（２）保護者に対する相談窓口	保護者に対する学校の相談窓口となり、保護者を支援します。
（３）担任への支援	担任の教師に対して、相談に応じたり、助言したりするなどの支援を行います。
（４）巡回相談や専門家チームとの連携	校内での適切な教育的支援につながるよう教育委員会に設置されている専門家チームとの連携を図ります。
（５）校内委員会での推進役	校内委員会の適切で円滑な運営がなされるよう推進役を担います。

+

特別支援学校（仮称）

役 割	内 容
（６）小・中学校への支援 （７）地域内の特別支援教育の核としての関係機関との連絡調整	ネットワークの構築、専門機関との交渉や人間関係の構築、協力関係を推進するための情報収集と情報共有

< 専門家チーム >

教育委員会には、医師、心理学の専門家、障害児学級担当教員、通常の学級担当教員等で構成される専門家チームが置かれます。専門家チームの主な役割は次のとおりです。

- ・ LD、ADHD、高機能自閉症か否かの判断
- ・ 子どもへの望ましい教育的対応について専門的意見等の提示

